

大学の世界展開力強化事業（ロシア）採択校連絡会 情報共有シート

1. 基本情報

構想名	日露間で活躍できるモノづくり中核人材の育成
大学名	近畿大学
担当部署	インターナショナルセンター、理工学部、総合理工学研究科
コンタクト先	インターナショナルセンター 菱川邦俊 06-4307-4320 hishikawa@kindai.ac.jp

※コンタクト先は、本情報共有シート等において記載された内容等に係る情報交換・問い合わせ等のため、採択大学間で連絡を取り合う際のコンタクト先（メール、TEL等）を記載ください。

2. プロジェクト概要

貴学が取り組まれているプロジェクトの概要についてご記入ください。

<p>本事業は、日露間で事業展開する企業で製品開発プロジェクトを推進・牽引できる実務型グローバル人材の育成を目標としており、近畿大学とロシアの協定校が学部から大学院にわたる学生交流に取り組む教育の産学連携プログラムである。教育プログラムは、近畿大学で培われてきたモノづくり人材育成の経験とノウハウに立脚し、さらに近畿大学の立地条件を生かしたモノづくり企業からの実務的な協力を基盤として構成されており、①短期人材交流プログラム（2週間／双方向）、②交換留学プログラム（1セメスタ／双方向）、③学位プログラム（修士：2年、博士：3年／東大阪モノづくり専攻への受入のみ）の3層となっている。全てのプログラムにおいてモノづくり企業でのインターンシップが実施される。ロシア協定校と人材ニーズを十分に反映した協同教育の企画・運営を行い、協同教育プログラム委員会の設置等を経て、単位互換・ジョイントディグリーの可能性を検討する。</p>

3. プロジェクトへの取組状況

下記5点を中心に貴学の取組状況をご記入ください。

ロシア側大学との調整・連携上の課題及び工夫点	理工系学生の交流が中心となることから、ロシア側大学の理工系学部と直接連携できる体制を構築している。現状、ボトムアップでは物事が進まないことも多く、トップダウンで交渉を進めている。
教育システム上の取り組み（学年歴、カリキュラム、学位認定、単位互換、単位認定、成績評価等、教育の質の保証に関する留意点、調整・取組状況）	来年度より交換留学プログラムを開始の予定である。数校のロシア側大学と単位互換に関わる話し合いを開始している。
プログラムの実施における特筆すべき成果	短期人材交流プログラムを以下の日程で実施の予定である。 受入れ：1/24～2/7、派遣：2/19～3/5 ロシアへの学生派遣においては5名派遣予定のところ107名の応募があり、派遣人数を11名まで増加して対応した。理系学生のモノづくり、ロシアへの関心は非常に高い。
危機管理への対策	危機管理マニュアルを作成している。 危機管理講習会を開催し、プログラム参加学生に配布・説明等を行っている。 また、短期人材交流プログラムにおいては、ロシア渡航に際し、ロシア在住経験を有する教員が付き添う等の対応を行う。
補助金終了後を見据えた今後の展望・方向性	本事業で得た経験・ノウハウをベースに、本学のモノづくり分野以外の強みである「水産」「医療」「エネルギー」の分野においてもロシアとの交流を推進していきたい。

4. プラットフォーム構築事業への要望等

本事業を推進するにあたり、ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

--